

患者さんパンフレット

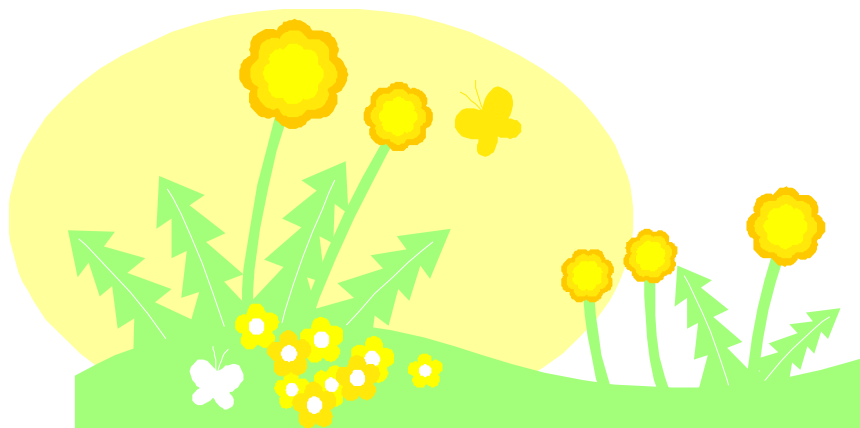
四国がんセンター
骨軟部腫瘍・整形外科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



抗がん剤治療
イホマイド+ドキシソルビシン
併用療法を受けられる方へ

さま

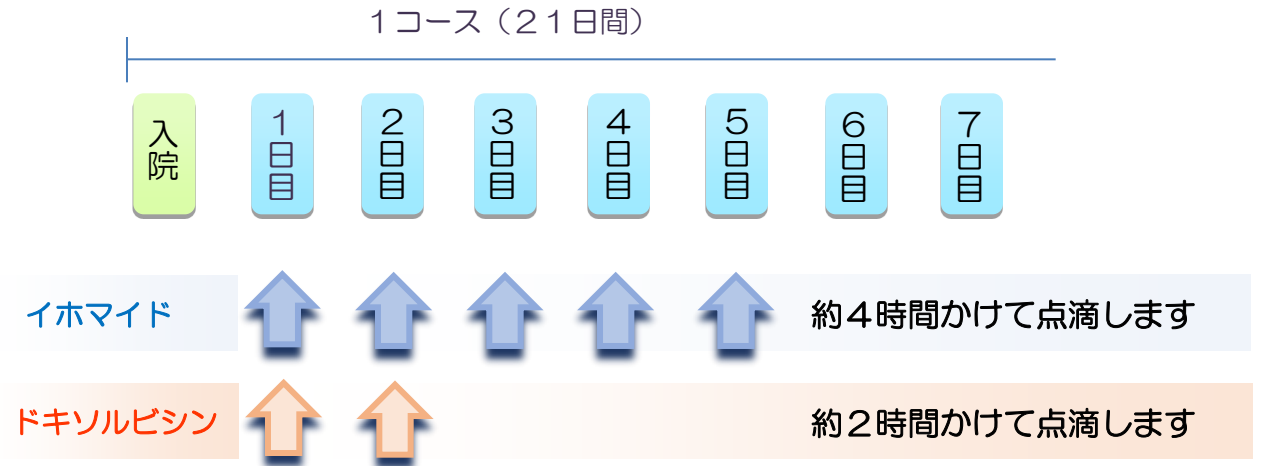
主治医

受け持ち看護師

2017年3月2日 作成
2026年2月16日 改訂

イホマイド+ドキシソルピシン併用療法のスケジュール

点滴投与のスケジュール



この他に、利尿剤や吐き気止めの注射薬や内服薬があります

治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることが出来ます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



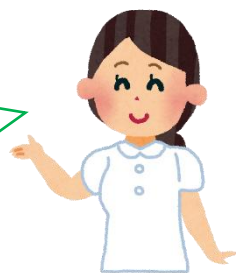
入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

尿の量を測る方法や注意点について

●コップを使って尿の量を測る場合

①ビニール袋を掛けたサニタリーケースの中に
逆さまに入ったコップ（メモリつき）が、
入っています

②コップを取り出し、排尿しましょう

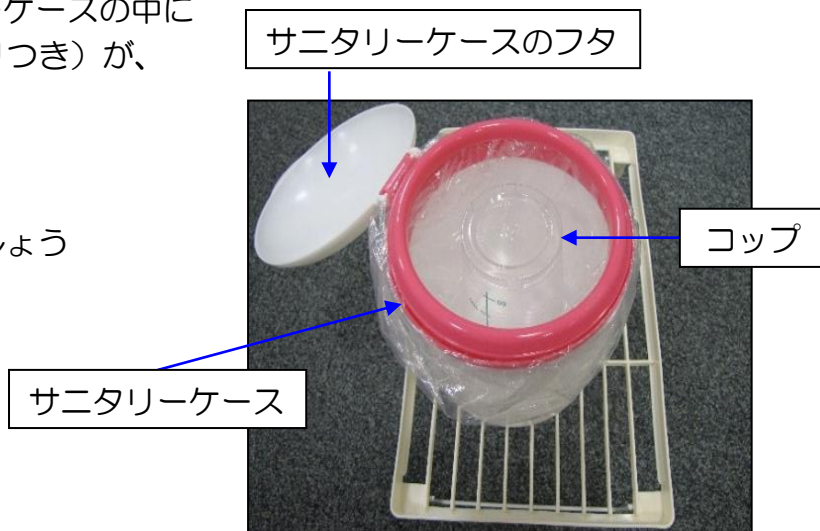
③排尿後、尿の量を測り、
尿はトイレに流しましょう

④排尿後のコップはトイレに設置された
シャワーで水洗いし、サニタリーケースへ
逆さまに入れて（戻し）、必ずフタをしてください

⑤手を洗いましょう

⑥お渡ししているパンフレットに尿の量を書きましょう

- * コップに付いた尿中の抗がん剤が、床や壁に付着するのを防ぎます
- * コップとビニール袋は1日1回看護師が交換します



●ユーリパンを使って尿の量を測る場合

①水色のビニール袋の中に、
ユーリパンとピンクのシート（吸水シート）
が入っています



中の様子が見えるように、透明の
ビニール袋に入っているユーリパン

②ユーリパンを便器に設置し、排尿しましょう

③排尿後、尿の量を測り、尿はトイレに流しましょう

④排尿後のユーリパンはトイレに設置されたシャワーで水洗いし、水色のビニール袋に
入れて（戻し）、必ず封をしてください



ユーリパン



シャワー

トイレの設置場所

⑤手を洗いましょう

⑥お渡ししているパンフレットに尿の量を書きましょう

- *ユーリパンに付いた尿中の抗がん剤が、床や壁に付着するのを防ぎます
- *水色のビニール袋とピンクシートは1日1回看護師が交換します

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように**患者さんご自身の目標**と**医療スタッフの目標**をあげています

入院は14日間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

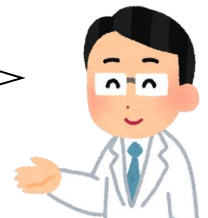
- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・サインをした同意書は看護師にお渡しください ・初回治療のときは、栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食 <治療の準備> ・看護師より治療スケジュール、副作用、日常生活の注意点について説明をします <お薬> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
21:30	消灯 <食事> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

身長：	cm	体重：	kg
-----	----	-----	----

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないように支援します

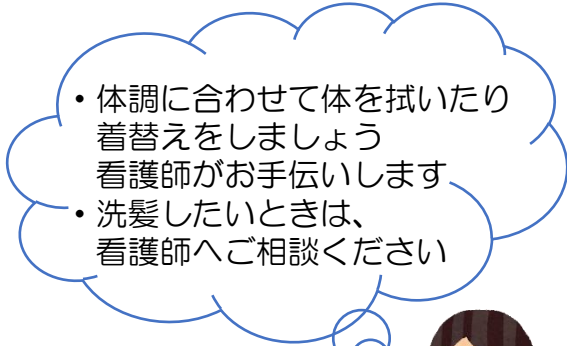




今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食
9:00	点滴を始めます
10:00	検温、血圧測定 吐き気止めの薬を点滴開始1時間後に服用します
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定 イホマイド開始30分後、ドキソルビシン開始30分後に検温があります
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

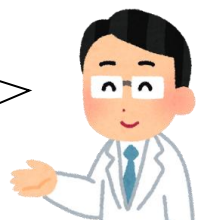


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



治療2日目 月 日



今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定	
7:30	朝食 吐き気止めのお薬（アプレピタント）を朝食後に服用します	
10:00	検温、血圧測定	
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none">• 体調に合わせて体を拭いたり着替えをしましょう 看護師がお手伝いします• 洗髪したいときは 看護師へご相談ください
14:00	検温、血圧測定 イホマイド開始15分後、ドキシソルピシン開始15分後に 検温があります	
18:00	夕食	<p>副作用と対策について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照 脱毛について 「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」 パンフレット参照</p>
19:00	検温、血圧測定	
21:30	消灯	

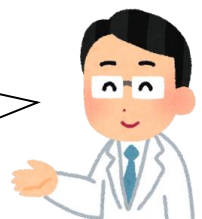


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の日目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食 吐き気止めのお薬（アプレピタント）を 朝食後に服用します
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定 イホマイド開始15分後に検温があります
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

- 体調に合わせて体を拭いたり着替えをしましょう
看護師がお手伝いします
- 洗髪したいときは
看護師へご相談ください

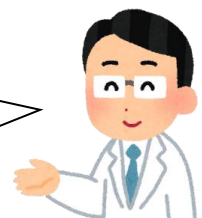


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

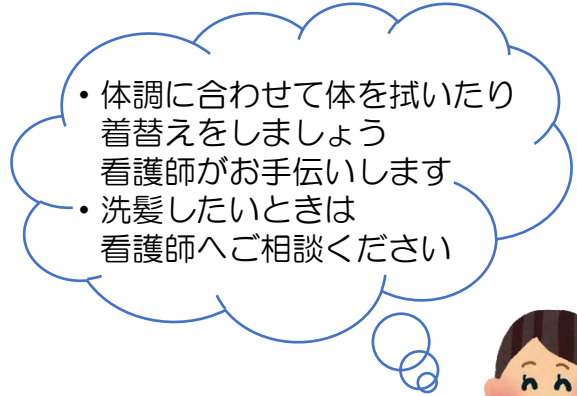




今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定 イホマイド開始15分後に検温があります
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

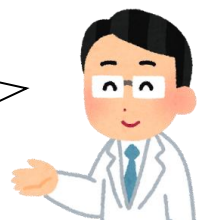


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

14:00

検温、血圧測定

*イホマイド開始15分後に検温があります

18:00

夕食

19:00

検温、血圧測定

21:30

消灯

- 体調に合わせて体を拭いたり着替えをしましょう
看護師がお手伝いします
- 洗髪したいときは
看護師へご相談ください



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

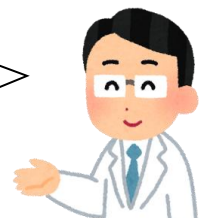
<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	血液検査（治療7日目）
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

看護師より退院当日の流れと退院後の日常生活について説明があります

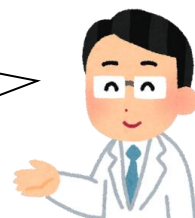


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 退院の準備をすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

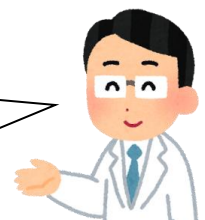
外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します





ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については購入方法をお伝えしています

退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

食事ごとに吐いてしまうようなときは、

1～2食、食事は控えてみましょう

この場合も水分はできるだけとりましょう



●排泄

毎日排便があるようにしましょう

軽い運動や水分を多めにとりましょう

下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう

水分を控えると脱水症状を起こすことがあります

便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールをしましょう

退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう

活動の内容や範囲に制限はありません

白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう

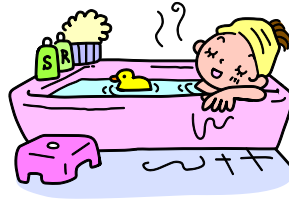
外出時はマスクを着用して、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●入浴

特に制限はありません



●仕事

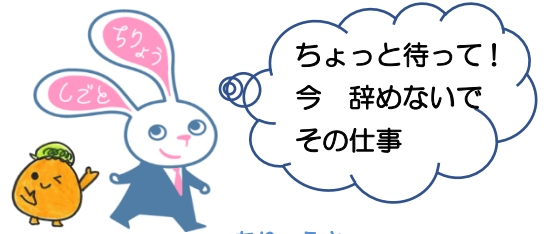
治療中は職場の上司と相談しながら、休職、休業制度の活用手続きを行っておくとよいでしょう

復職後の重労働は、しばらく避けるようにしましょう

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

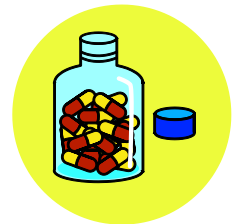
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



わからないこと、心配なことがあれば
遠慮なく看護師にお尋ねください



- 38.0℃以上の熱が数日続くとき
- 便秘が続き排ガスがなく、吐き気や腹痛を伴うとき
- 下痢が数日続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



イホマイド+ドキシルピシン併用療法を受けられる方へ